

楽しみながら、科学を学ぶことへの興味・関心につながる講演でした。 “エンタメ型”科学教室 11月20日(水)

本校では本年度、学校経営方針のひとつとして、「理科教育の充実」を掲げています。具体的には、学校パワーアップ事業を活用、実験・観察活動の充実、ICT機器の活用、「サイエンス講座」等外部講師の導入等に取り組むことにより、生徒の興味・関心を高めながら、実体験を通して理解を深める学習活動を目指しています。

そうしたなか、“科学の未来のために好奇心のタネをまく”をテーマにして、これまでに以下のような特別授業を行いました。

5/16 「電子顕微鏡から広がる世界」

ヨーグルトのフタがくっつかない理由を予想、素材表面を電子顕微鏡のリモート操作で実際に観察し、それをもとに考察する、探究プロセス体験授業 協力：(株) 日立ハイテク

7/5 「生命の誕生」

ウニの卵を実際に受精させ、その成長・細胞分裂の様子を顕微鏡で観察する実習授業 協力：お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所、日本財団「海と日本 PROJECT」



そして今回は、科学館や教育機関でのイベント提供をしている会社「ActBoon (アクトブーン)」にご協力いただき、「“エンタメ型”科学教室 ～ 楽しみながら、科学の歴史・知識が身に付く一石二鳥の新感覚ショー ～」を実施しました。11月20日(水)、3・4校時を使い、2学年対象に実施しました。講師は、ActBoon代表であり、トヨタ自動車株式会社で AI リサーチャーの肩書きをもつマジシャン、シンディー氏です。学習テーマはこちらで指定できるということなので、これから学習する予定の「電気」の分野でお願いをしました。

「電気」の授業では、電流・電圧・電力、静電気、電磁誘導等、多くのことを学ぶことになるのですが、講演では、電気にまつわるマジックやタブレットPCを使って電力の学習につながる Web ゲームなどを織り交ぜながらの観客参加型なので、これらの学習内容についてのイメージをつかむのに大変有効なものでした。講演の最後には、静電気のしくみを使った秘伝のマジックを伝授いただきました。これらにより、理数系は苦手・難しいという意識が軽減され、科学を学ぶことへの興味・関心につながってくれればと思います。

